

あいさつ

中央区教育委員会教育長 島田 勝敏

現在、社会環境や生活様式の変化により、幼児が体を動かして遊ぶ機会が減少することで、多様な動きの獲得に遅れが生じたり、幼児の体力や意欲、気力が低下したりするなど、心身の発達に重大な影響を及ぼすことが懸念されています。そのため、幼児期からの運動の促進がより一層求められており、あらたな幼稚園教育要領では、幼児期の終わりまでに育ってほしい具体的な姿として、「健康な心と体」が明記されました。幼児期において心と体は相互に関連しながら発達していくため、身体諸機能を十分に動かし、幼児の活動意欲を満足させることは非常に重要なことです。

こうした中、京橋朝海幼稚園では、中央区教育委員会研究奨励園として、平成28・29年度の2年間にわたり、「多様な動きを楽しく経験するための指導の工夫～コーディネーショントレーニングを活用して～」を研究主題に、多様な動きを引き出すためのよりよい環境設定や教師の援助について研究を進めてこられました。

幼児期に様々な基本的な動きを身に付けていくことは、小学校以降の体力向上につながるものであり、大変貴重な実践事例であります。京橋朝海幼稚園の研究成果を、幼児教育に携わる方々に広めていただきたいと存じます。

結びに、箕輪恵美園長をはじめ、教職員の皆さまの熱意と努力に深く敬意を表するとともに、本研究を長きにわたってご指導賜りました千葉大学教授 松嵜 洋子先生に心より感謝申し上げ、ごあいさつといたします。

あいさつ

中央区立京橋朝海幼稚園 園長 箕輪 恵美

賑やかな街中に位置する本園の学区域には子どもが遊べる場が少なく、また、日常生活が便利になる中で体や手先を使う機会が減っていることもあります。ここ数年、園児の身のこなしのぎこちなさが目立つようになってきました。一方、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、中央区では幼児から大人まで生涯にわたりスポーツに親しむ機会を広げていこうという機運が高まっています。園児の実態と中央区の目指す方向性を踏まえ、本園では園児に多様な動きを楽しく経験させたい、という願いをもち、本研究に取り組んでまいりました。

2年間にわたり、あたたかく丁寧にご指導くださいました千葉大学教育学部 教授 松嵜 洋子先生に、厚く御礼申し上げます。また、研究の機会を与えていただきました中央区教育委員会の皆様に心より感謝申し上げます。